

第2章 道路緑化樹木の推移

2.1 調査の目的

全国の道路緑化樹木の本数や使用する樹種の推移を把握し、道路緑化に関する基礎資料とすることを目的とした。

2.2 調査の方法

本章では、道路緑化樹木現況調査の対象範囲を全国に広げた1987年（昭和63年）以降の道路緑化樹木現況調査結果を中心にデータを集計・比較して解析を行った。各年の調査の方法は「第1章 道路緑化樹木現況調査」の「1.2 方法」と同様である。

2.3 調査の結果

2.3.1 本数の推移

図-2.1、図-2.2に全国の高木および中低木の本数の推移を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で107万本、1992年から1997年の5年間で143万本、1997年から2002年の5年間で58万本増加したが、2002年から2007年の5年間では12万本の減少、2007年から2012年の5年間では8万本の増加、2012年から2017年の5年間では5万本の減少となっており、2002年以降の本数は横ばいである。

中低木は、1987年から1992年の5年間で3,056万本、1992年から1997年の5年間で3,856万本、1997年から2002年の5年間で484万本、2002年から2007年の5年間で754万本、2007年から2012年の5年間で27万本、2012年から2017年の5年間で94万本の増加となっており、1992年から1997年の3,860万本をピークに増加本数は大幅に減少している。なお、1997年調査から中低木の調査票に地被類が見られるようになり、2007年調査までは中低木の集計に含めてきたが、地被類のほかササ類、シバ等の草本を中低木として本数で計上することには違和感があることから、2012年調査時には地被類、ササ類、シバ、シバザクラ、草本を除いて集計している。さらに、今回はマンネングサ類、イワダレソウ類も地被類に含めて集計から除いた。そのため、本数の推移をみるために1997年、2002年、2007年、2012年の中低木総本数からもこれらを除いてグラフを作成している。

図-2.3、図-2.4に道路延長あたりの高木および中低木の本数の増加を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で0.8本/km、1992年から1997年の5年間で1.1本/km、1997年から2002年の5年間で0.4本/km増加したが、2002年から2007年の5年間では0.2本/kmの減少、2007年から2012年の5年間では5.6本/kmで変わらなかったが、2012年から2017年の5年間で0.1本/kmの減少となった。

中低木は、1987年から1992年の5年間で26.2本/km、1992年から1997年の5年間で31.8本/km、1997年から2002年の5年間で6.7本/km、2002年から2007年の5年間で0.2本/kmの増加となっており、1992年から1997年の31.8本/kmをピークに増加本数は減少傾向にあったが、2007年から2012年の5年間では1.8本/km減少、2012年から2017年の5年間で0.1本/kmの減少となった。

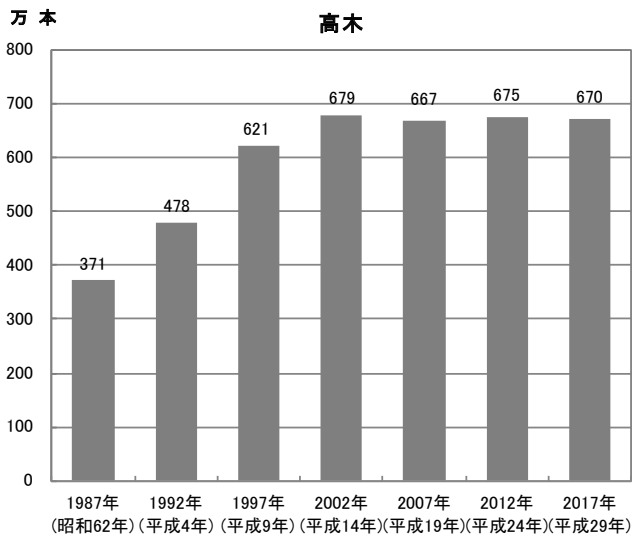


図 -2.1 全国の高木本数の推移

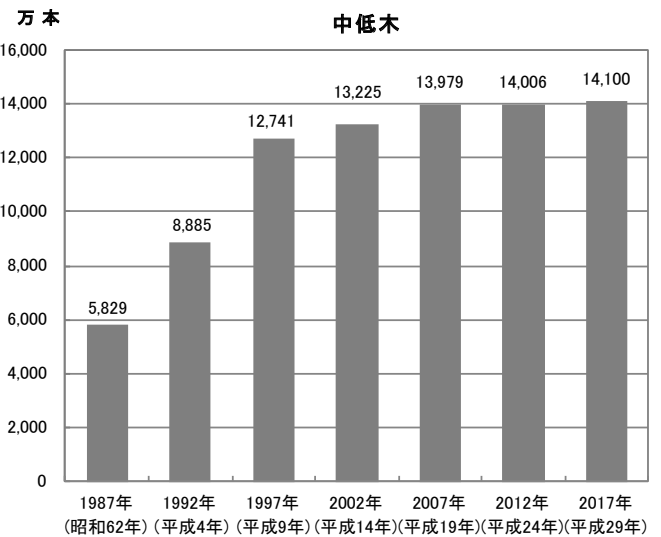


図 -2.2 全国の中低木本数の推移

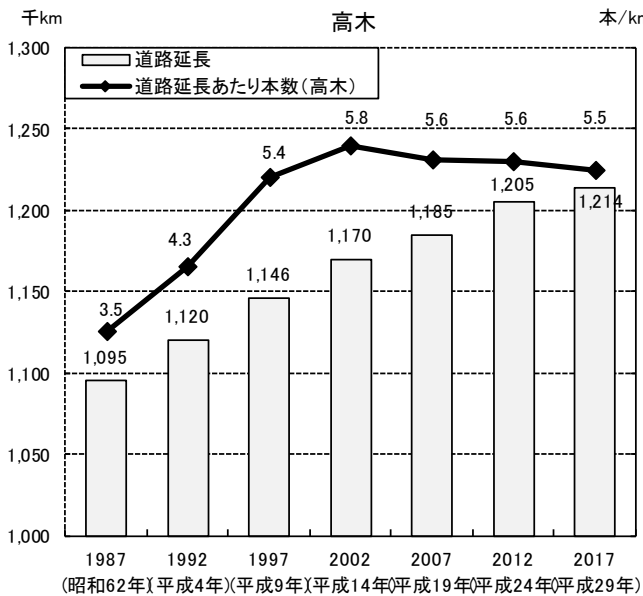


図 -2.3 道路延長あたりの高木本数の推移

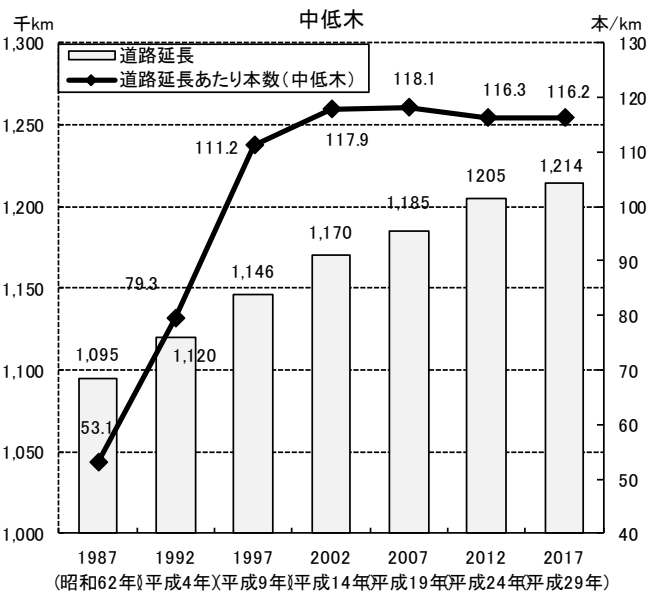


図 -2.4 道路延長あたりの中低木本数の推移

2.3.2 樹種の推移

表-2.1、表-2.2 に道路緑化に使用されている樹種の本数の上位 10 種を調査年毎に示した。また、図-2.5、図-2.6 に上位樹種の推移を示した。

高木では、イチョウ、サクラ類、ケヤキ、トウカエデ、クスノキ、ナナカマドの 6 種は、1987 年以降 30 年間上位 10 種に入っている。なかでもイチョウ、サクラ類、ケヤキの 3 種は、1992 年以降変わらず上位 3 種を占めている。4 位以降については順位が変化してきているが、近年の特徴としては、1987 年に 3 位で 2012 年に 10 位まで順位を下げたプラタナス類の本数がさらに減少して今回調査では 12 位まで順位を落としていることと、ハナミズキの本数の増加が著しく、1997 年に 7 位に入り、2002 年以降 4 位となっていることがあげられる。

1987 年以降の 30 年間において、高木の総本数は 1.8 倍に増加したが、30 年間上位 10 種に入っている 6 種のうち、高木全体よりも本数の増加率が高いものは、ケヤキ (3.7 倍)、クスノキ (2.0 倍)、サクラ類 (2.0 倍) である。イチョウは変わらず 1 位ではあるものの増加率は高くなく、2 位のサク

表-2.1 道路緑化樹木 (高木) の上位 10 種の推移

順位	1987 (昭和 62) 年		1992 (平成 4) 年		1997 (平成 9) 年		2002 (平成 14) 年		2007 (平成 19) 年		2012 (平成 24) 年		2017 (平成 29) 年		対前回調査割合 (%)
	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	
1	イチョウ	486	イチョウ	552	イチョウ	591	イチョウ	619	イチョウ	572	イチョウ	570	イチョウ	547	96
2	サクラ類	260	サクラ類	346	サクラ類	428	サクラ類	520	サクラ類	494	サクラ類	522	サクラ類	520	99
3	プラタナス類	258	ケヤキ	305	ケヤキ	412	ケヤキ	476	ケヤキ	478	ケヤキ	487	ケヤキ	462	95
4	トウカエデ	238	トウカエデ	281	トウカエデ	317	ハナミズキ	343	ハナミズキ	333	ハナミズキ	360	ハナミズキ	362	100
5	ケヤキ	133	プラタナス類	251	クスノキ	247	トウカエデ	330	トウカエデ	317	トウカエデ	321	トウカエデ	312	97
6	カシ類	129	クスノキ	193	プラタナス類	229	クスノキ	286	クスノキ	271	クスノキ	276	クスノキ	261	95
7	クスノキ	128	ナナカマド	162	ハナミズキ	210	プラタナス類	205	モミジバフウ	196	ナナカマド	196	ナナカマド	189	96
8	ナナカマド	110	日本産カエデ類	140	ナナカマド	193	ナナカマド	196	ナナカマド	196	日本産カエデ類	183	日本産カエデ類	183	100
9	シダレヤナギ	109	モミジバフウ	120	シラカシ	179	サザンカ類	176	プラタナス類	163	モミジバフウ	170	モミジバフウ	173	101
10	ニセアカシア	106	マテバシイ	112	日本産カエデ類	144	モミジバフウ	149	日本産カエデ類	150	プラタナス類	149	クロガネモチ	148	103
	総本数	3,708	総本数	4,785	総本数	6,208	総本数	6,786	総本数	6,675	総本数	6,750	総本数	6,701	99

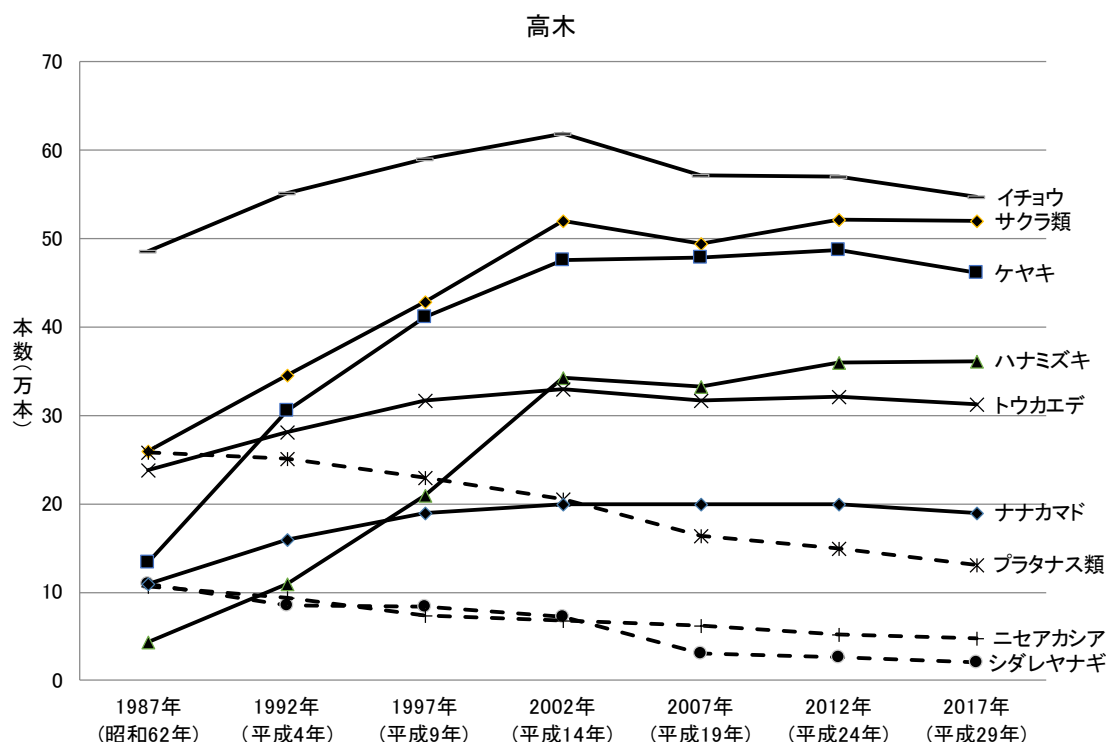


図-2.5 道路緑化樹木 (高木) の上位樹種の推移

ラ類との差が、1987年の23万から3万本に縮まっている。なお、今回10位以下に順位を下げたプラタナス類については30年間で本数が減少(0.5倍)している。

これらの樹種の増減の理由として、プラタナス類は、成長が旺盛で剪定に手間がかかることや、剪定傷口などから腐朽菌が侵入して材が腐朽して倒れやすいなど、一般的に管理がしにくいいため、本数を減らしたと考えられる。増加が著しい樹種については次のような特徴がみられる。ケヤキも成長は旺盛であるが、新緑、紅葉、樹形の美しさが好まれ、東北や関東を中心に自治体のシンボルの木に指定されることも多く、各地に名所となっている並木がある。ハナミズキは、花や紅葉の美しさに加えて、樹高があまり高くならずに管理がしやすいなどの長所をもつため、関東の都市部等を中心に本数を増やしている。クスノキは、つややかで厚みのある密な葉のこんもりした樹形で年間を通じて豊かな緑を提供し、都市景観に風格を与えることから、近畿や四国、九州において自治体の木に指定されることが多い。サクラは日本の象徴のような花であり、北海道から九州まで多くの自治体で名所となっている場所も多い。

中低木では、上位の3種のツツジ類、シャリンバイ類、アベリア類は1987年以降の30年間で変

表-2.2 道路緑化樹木(中低木)の上位10種の推移

順位	1987(昭和62)年		1992(平成4)年		1997(平成9)年		2002(平成14)年		2007(平成19)年		2012(平成24)年		2017(平成29)年		対前回調査割合(%)
	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)	
1	ツツジ類	25,107	ツツジ類	37,578	ツツジ類	54,574	ツツジ類	61,532	ツツジ類	61,449	ツツジ類	62,083	ツツジ類	62,748	101
2	シャリンバイ	4,971	シャリンバイ	7,057	シャリンバイ	8,754	シャリンバイ	8,945	シャリンバイ	9,519	シャリンバイ	9,447	シャリンバイ	9,732	103
3	アベリア	3,756	アベリア類	6,369	アベリア類	8,352	アベリア類	8,608	アベリア類	9,486	アベリア類	9,247	アベリア類	9,309	101
4	サザンカ類	2,542	サザンカ類	3,851	ツゲ類	6,910	サザンカ類	5,195	サザンカ類	5,578	サザンカ類	5,461	サザンカ類	5,288	97
5	ツゲ類	2,330	ツゲ類	3,322	サザンカ類	3,778	ヘデラ類	5,154	ヘデラ類	5,079	ドウダンツツジ類	4,541	ドウダンツツジ類	4,672	103
6	イヌツゲ	1,428	ドウダンツツジ類	2,027	ドウダンツツジ類	2,758	ホンツツジ類	4,601	ドウダンツツジ類	4,648	セイヨウツゲ	3,604	セイヨウツゲ	3,710	103
7	ハマヒサカキ	1,294	イヌツゲ類	1,937	トベラ類	2,742	ドウダンツツジ類	4,331	セイヨウツゲ	4,484	ヘデラ類	3,471	ヘデラ類	3,441	99
8	トベラ	1,249	トベラ	1,757	ヘデラ類	2,356	ヒペリカム類	2,789	イヌツゲ類	3,048	ヒペリカム類	2,953	ヒペリカム類	2,887	98
9	ウバメガシ	1,067	ハマヒサカキ	1,692	ハマヒサカキ	2,170	イヌツゲ類	2,713	ヒペリカム類	2,750	イヌツゲ類	2,900	イヌツゲ類	2,809	97
10	ネズミモチ	888	ネズミモチ類	1,337	ウバメガシ	1,921	ハマヒサカキ	2,046	ハマヒサカキ	2,009	ハマヒサカキ	2,050	ハマヒサカキ	1,987	97
	総本数	58,288	総本数	88,852	総本数	127,451	総本数	132,252	総本数	139,785	総本数	140,061	総本数	140,999	101

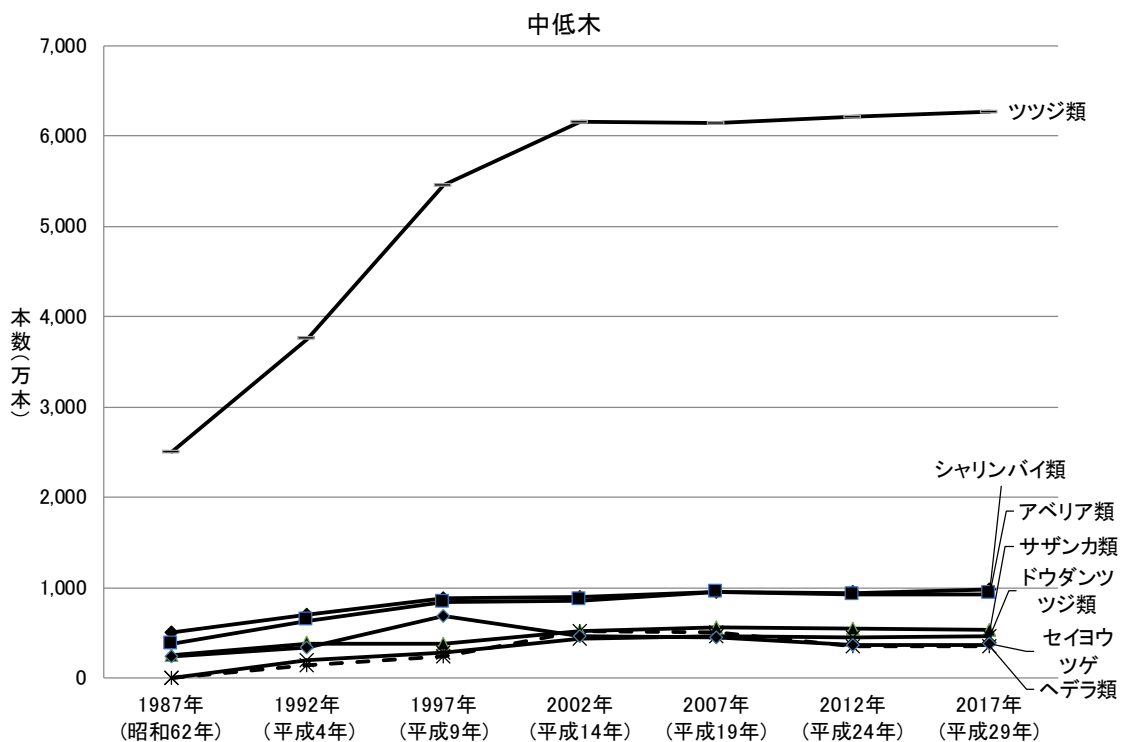


図-2.6 道路緑化樹木(中低木)の上位樹種の推移

動がない。また、サザンカ類は1997年を除き4位を維持している。5位以降は順位が変化しているが、前回よりドウダンツツジ類、セイヨウツゲ、ヘデラ類が安定して上位を占めている。

1987年以降の30年間に於いて、中低木の総本数は2.4倍に増加し、1位のツツジ類もこの間2.5倍に増加しているが、2002年までに急増した後は横ばい状態が続いている。また、ツツジ類は1987年以降の30年間に於いて常に総本数の約4割を占めているが、ツツジ類が多いのは、花の美しさに加えて、病虫害にかかりにくく、強剪定に耐えて管理が容易であることなどによるものと考えられる。

また、高木の樹種数と高木の上位樹種の割合の推移を図-2.7に示した。全国調査の始まった1987年からは、上位5種が全体本数の3割強、上位10種が全体本数の5割前後を占めて推移しており変化が少ない。なお、総樹種数については、樹種区分(2種以上をまとめて「類」で表記する等)に変化があるため増減がある。

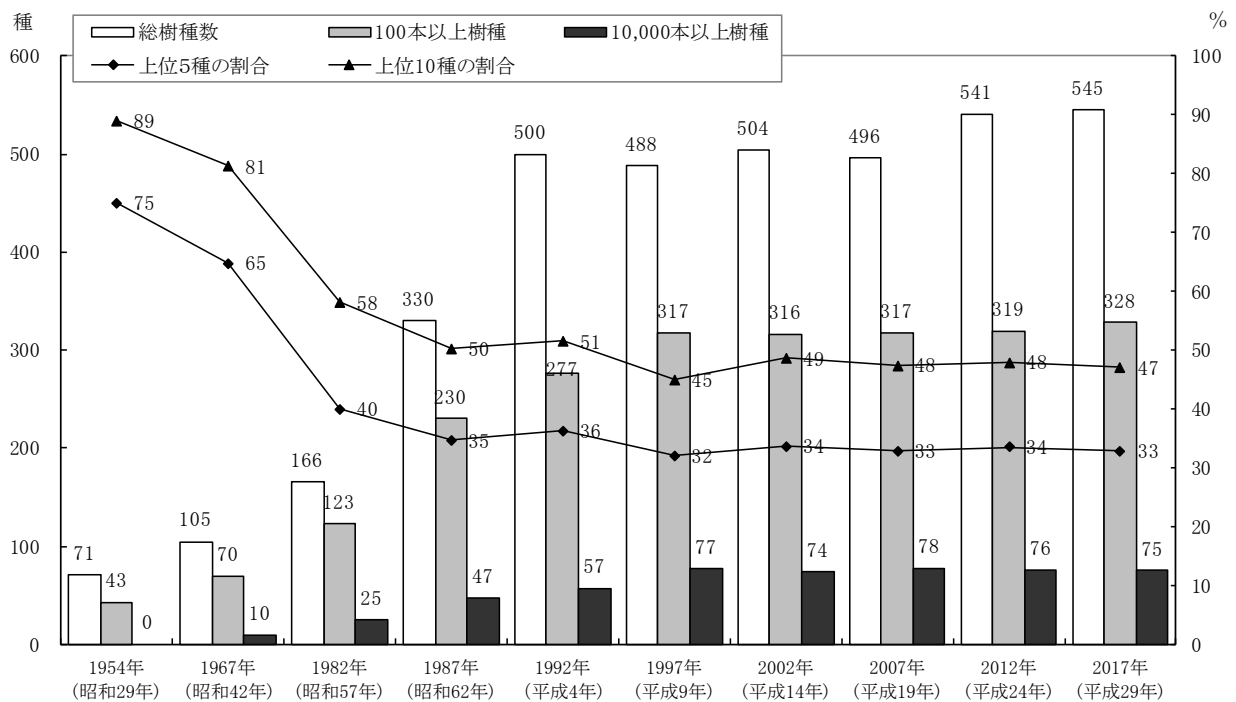


図-2.7 高木の樹種数と高木の上位樹種の割合の推移

図-2.8～図-2.17及び表-2.3～表-2.12に、1987年以降の30年間に於ける上位樹種の変動と樹種の多様性の推移を地方毎に示した。なお、本数の変動が著しい調査年については、調査時の誤集計が考えられたため、図の折れ線グラフには含めていない。

北海道は、ナナカマドが一貫して1位で高い割合を示している。また、2007年以降にアカエゾマツ、ヤナギ類が増加しており、ニセアカシアが減少している。ニセアカシアはやせ地でも成長がよいことから多用されてきたが、木材腐朽病による倒木が増えていることや過去に要注意外来生物に指定されたことも影響していると考えられる。樹種はナナカマド、アカエゾマツ、ハルニレ、シラカンバなど北海道の地域特性に合った樹種が選択されている。1987年以降、上位5種の割合は5割台から4割台へ、上位10種の割合は7割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

東北は、1997年以降の20年間にケヤキ、サクラ類、イチョウが上位3種を占めているものの、本数は前回から若干の減少がみられる。一方でハナミズキ、日本産カエデ類は若干の増加となった。5位のナナカマドは、2002年をピークに減少が著しい。1987年以降、上位5種の割合は5割台から4割台へ、上位10種の割合は7割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

関東は、イチョウが一貫して1位を占めているものの、2002年の22万本をピークに減少傾向と示しており、今回は18万本まで低下している。一方で、ハナミズキは30年間で本数が5倍以上に増加して近年は微増状態となつてはいるもののイチョウの本数に近づいている。サクラ類は2～3位を維持しているが、2002年に16万本（1987年の2倍近く）まで増加したものの、イチョウ同様に減少傾向を示して14万本まで低下している。プラタナス類は、1982年から2017年にかけて本数が約56%に減少した。上位5種は4割台、上位10種は6割前後で安定している。

北陸は、30年間でケヤキが4.4倍となつており増加が著しいものの、前回よりも僅かに減少した。30年間ではサクラ類、ハナミズキの増加も目立っているが、上位10種のなかで前回から増加した樹種はサクラ類、サルスベリ類、ヤマボウシ、シラカシの4種であった。1987年以降、上位5種の割合は6割台から4割台へ、上位10種の割合は9割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

中部は、1987年に1位のイチョウと2位のトウカエデが拮抗していたが、30年間でトウカエデは1.6倍（前回とほぼ同じ）で1位に、イチョウは1.3倍（前回から減少）で2位と順位が逆転している。3位のサクラ類と4位のハナミズキは順位は変わらず、両種ともに前回から本数を増加させている。上位5種の割合は4割台、上位10種は6割台で安定している。

近畿は、本数の伸びが著しいのは、30年間で1.9倍となったケヤキ、1.8倍のクスノキ、1.6倍のサクラ類であるが、上位10種全てが前回よりも本数を減少させている。サザンカ類、ハナミズキは2002年以降に増加して上位に入ってきた。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

中国は、モミジバフウが上位に入っていることが特徴的である。最も多いケヤキは、全国的に本数を減少させているのに対して増加傾向にあり、30年間で3.5倍の本数となっている。なお、1987年に1位だったプラタナス類は一貫して本数を減らして30年間で6割程度まで減少した。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

四国は、クスノキが上位を維持して30年間で2.6倍まで増加しているものの、2007年をピークに本数を減少し続けている。モミジバフウも上位にあったが、ケヤキとクロガネモチが増加しているなかで順位を下げている。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

九州は、30年間でケヤキが3.3倍、サクラ類が2.3倍、クロガネモチが2.2倍と伸びが著しいが、いずれも前回から減少している。一方、1987年に1位のイチョウは1.1倍で4位に順位を落としている。また、ホルトノキなど他地域でこれまでに見られなかった樹種も上位に入っているが、ホルトノキは1997年をピークに減少傾向がとまらない。上位5種は4割台、上位10種は6割台で安定している。

沖縄は、上位10種が九州以北と全く異なっている。また、30年間でリュウキュウコクタンが6.5倍、フクギが5.6倍、リュウキュウマツが4.6倍と増加が著しいものの、リュウキュウマツは前回から減少している。上位5種は4割台、上位10種は6割台で安定しており、樹種は全く異なっているが、上位樹種の占める割合は他の地域と同じ水準である。

表-2.3 高木上位10種の推移（北海道）

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年			1997(平成9)年			2002(平成14)年			2007(平成19)年			2012(平成24)年			2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ナナカマド	90,530	20	ナナカマド	148,449	14	ナナカマド	148,449	14	ナナカマド	148,449	14	ナナカマド	148,449	14	ナナカマド	148,449	14	ナナカマド	148,449	14
2	ニセアカシア	49,808	11	イチョウ	111,224	10	日本産カエデ類	111,224	10	イチョウ	111,224	10	イチョウ	111,224	10	アカエゾマツ	111,224	10	アカエゾマツ	111,224	10
3	プラタナス類	44,870	10	日本産カエデ類	81,201	8	イチョウ	81,201	8	サクラ類	81,201	8	サクラ類	81,201	8	日本産カエデ類	81,201	8	ヤナギ類	81,201	8
4	イチョウ	38,279	8	ニセアカシア	78,562	7	アカエゾマツ	78,562	7	日本産カエデ類	78,562	7	アカエゾマツ	78,562	7	イチョウ	78,562	7	日本産カエデ類	78,562	7
5	カエデ類	31,500	7	プラタナス類	69,764	7	サクラ類	69,764	7	サクラ類	69,764	7	サクラ類	69,764	7	イチョウ	69,764	7	イチョウ	69,764	7
6	サクラ類	30,304	7	サクラ類	63,583	6	プラタナス類	63,583	6	プラタナス類	63,583	6	ハルニレ	63,583	6	ヤナギ類	63,583	6	サクラ類	63,583	6
7	シラカバ	22,330	5	シラカンバ	46,811	4	ニセアカシア類	46,811	4	ニセアカシア	46,811	4	ニセアカシア	46,811	4	ハルニレ	46,811	4	ハルニレ	46,811	4
8	マツ類	16,345	4	ハルニレ	39,031	4	ハルニレ	39,031	4	アカエゾマツ	39,031	4	プラタナス類	39,031	4	シラカンバ	39,031	4	シラカンバ	39,031	4
9	ニレ類	15,394	3	アカマツ・クロマツ類	35,640	3	シラカンバ	35,640	3	ブンゲンストウヒ	35,640	3	シラカンバ	35,640	3	プラタナス類	35,640	3	プラタナス類	35,640	3
10	クロマツ	13,178	3	アカエゾマツ	35,120	3	アカマツ・クロマツ類	35,120	3	シラカンバ	35,120	3	ブンゲンストウヒ	35,120	3	ニセアカシア	35,120	3	トドマツ	35,120	3
総本数	461,507			652,035			864,945			856,791			961,296			1,042,510			1,072,801		
上位5種	55%			49%			44%			41%			41%			44%			46%		
上位10種	76%			71%			65%			62%			61%			64%			66%		

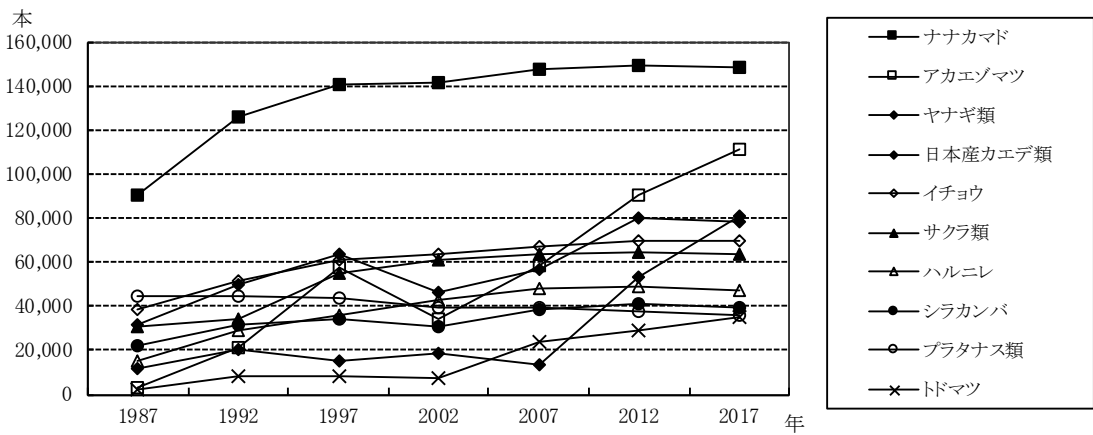


図-2.8 主要樹種本数の経年変化（北海道）

表-2.4 高木上位10種の推移（東北）

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年			1997(平成9)年			2002(平成14)年			2007(平成19)年			2012(平成24)年			2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	34,133	16	イチョウ	52,771	12	ケヤキ	52,771	12	ケヤキ	52,771	12	ケヤキ	52,771	12	ケヤキ	52,771	12	ケヤキ	52,771	12
2	ケヤキ	22,434	11	日本産カエデ類	48,114	11	サクラ類	48,114	11	サクラ類	48,114	11	サクラ類	48,114	11	サクラ類	48,114	11	サクラ類	48,114	11
3	トウカエデ	21,812	10	ケヤキ	36,841	8	イチョウ	36,841	8	イチョウ	36,841	8	イチョウ	36,841	8	イチョウ	36,841	8	イチョウ	36,841	8
4	サクラ類	17,211	8	トウカエデ	31,135	7	ナナカマド	31,135	7	ナナカマド	31,135	7	ナナカマド	31,135	7	トウカエデ	31,135	7	トウカエデ	31,135	7
5	プラタナス類	15,984	8	プラタナス類	27,470	6	トウカエデ	27,470	6	トウカエデ	27,470	6	トウカエデ	27,470	6	ナナカマド	27,470	6	ナナカマド	27,470	6
6	ナナカマド	11,947	6	ナナカマド	27,129	6	ハナミズキ	27,129	6	ハナミズキ	27,129	6	ハナミズキ	27,129	6	ハナミズキ	27,129	6	ハナミズキ	27,129	6
7	カイズカイブキ	8,873	4	サクラ類	12,778	3	プラタナス類	12,778	3	ユリノキ	12,778	3	ユリノキ	12,778	3	ユリノキ	12,778	3	ユリノキ	12,778	3
8	ユリノキ	8,738	4	エンジュ	12,347	3	ユリノキ	12,347	3	プラタナス類	12,347	3	日本産カエデ類	12,347	3	日本産カエデ類	12,347	3	日本産カエデ類	12,347	3
9	カエデ類	8,542	4	ユリノキ	11,128	3	サワラ類	11,128	3	日本産カエデ類	11,128	3	プラタナス類	11,128	3	ヤマボウシ	11,128	3	ヤマボウシ	11,128	3
10	シダレヤナギ	7,442	4	イブキ類	10,745	2	カツラ	10,745	2	ヤマボウシ	10,745	2	アカマツ・クロマツ類	10,745	2	アカマツ・クロマツ類	10,745	2	アカマツ・クロマツ類	10,745	2
総本数	207,889			358,722			393,173			447,031			439,338			456,942			439,598		
上位5種	54%			47%			48%			47%			45%			45%			45%		
上位10種	76%			70%			66%			65%			61%			61%			62%		

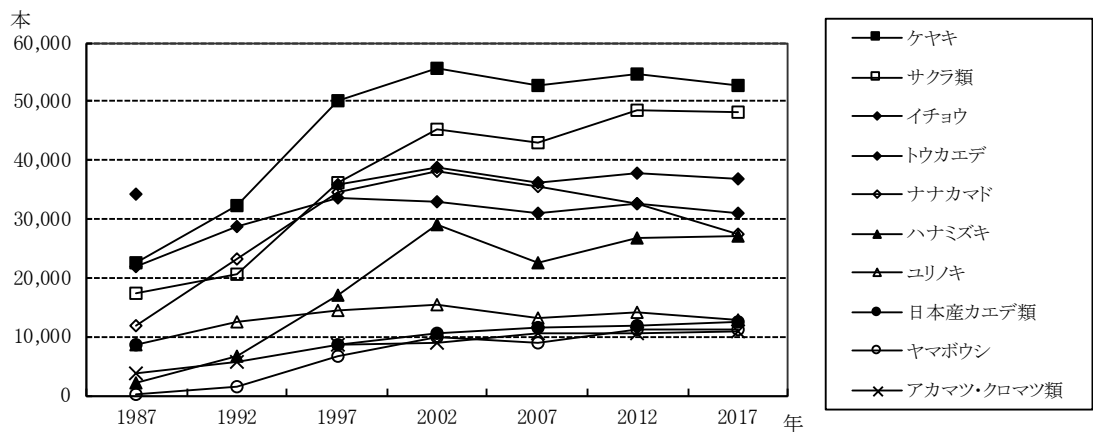


図-2.9 主要樹種本数の経年変化（東北）

表-2.5 高木上位10種の推移（関東）

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年		1997(平成9)年		2002(平成14)年		2007(平成19)年		2012(平成24)年		2017(平成29)年	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合			
1	イチョウ	176,465	18	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	179,311	11			
2	プラタナス類	77,142	8	サクラ類	サクラ類	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	171,411	11			
3	サクラ類	80,506	8	ケヤキ	ハナミズキ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	139,925	9			
4	トウカエデ	75,074	8	トウカエデ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	111,648	7			
5	ケヤキ	62,539	6	プラタナス類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	91,002	6			
6	マテバシイ	45,328	5	ハナミズキ	プラタナス類	プラタナス類	マテバシイ	マテバシイ	マテバシイ	マテバシイ	55,947	3			
7	エンジュ	39,259	4	ユリノキ	ユリノキ	マテバシイ	ユリノキ	ユリノキ	ユリノキ	ユリノキ	55,385	3			
8	ユリノキ	37,160	4	マテバシイ	マテバシイ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	50,883	3			
9	ハナミズキ	30,100	3	エンジュ	クスノキ	ユリノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	43,039	3			
10	シダレヤナギ	26,737	3	クスノキ	エンジュ類	エンジュ	エンジュ	エンジュ	エンジュ	エンジュ	36,528	2			
総本数	966,802			1,214,647		1,375,186		1,849,807		1,662,598		1,623,897		1,614,586	
上位5種	49%			45%		45%		43%		41%		43%		43%	
上位10種	67%			65%		64%		61%		58%		59%		58%	

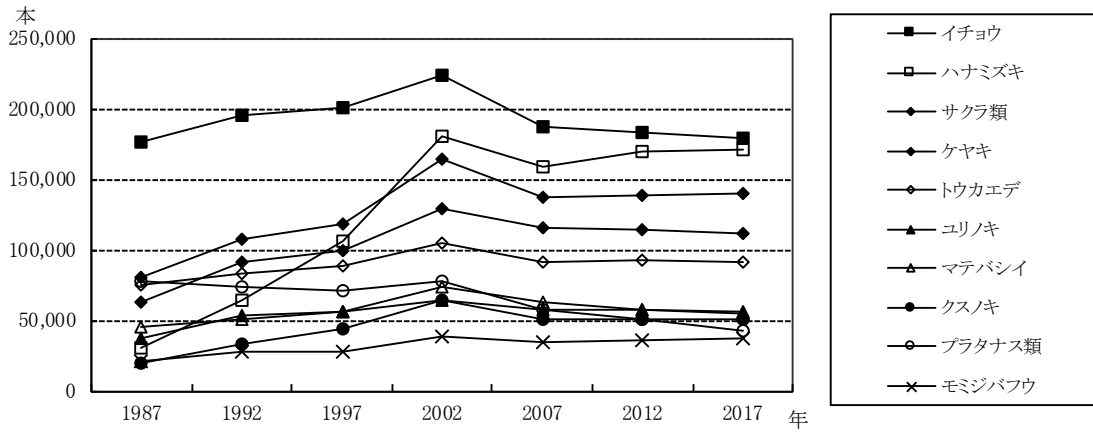


図-2.10 主要樹種本数の経年変化（関東）

表-2.6 高木上位10種の推移（北陸）

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年		1997(平成9)年		2002(平成14)年		2007(平成19)年		2012(平成24)年		2017(平成29)年	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合			
1	イチョウ	22,773	23	イチョウ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	45,100	16			
2	トウカエデ	11,650	12	ケヤキ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	27,917	10			
3	ケヤキ	10,248	10	サクラ類	アカマツ・クロマツ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	26,122	9			
4	プラタナス類	9,852	10	アカマツ・クロマツ類	トウカエデ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	21,455	8			
5	サクラ類	9,522	9	トウカエデ	サクラ類	トウカエデ	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	12,877	5			
6	ニセアカシア	8,473	8	モミジバフウ	ハナミズキ	アカマツ・クロマツ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	10,552	4			
7	モミジバフウ	6,479	6	プラタナス類	プラタナス類	ユリノキ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	9,399	3			
8	シダレヤナギ	5,846	6	シダレヤナギ	ユリノキ	プラタナス類	サルスベリ類	サルスベリ類	サルスベリ類	サルスベリ類	9,128	3			
9	ユリノキ	4,443	4	ユリノキ	ナナカマド	モミジバフウ	シラカシ	ヤマボウシ	ヤマボウシ	ヤマボウシ	8,756	3			
10	カイヅカイブキ	3,555	4	ニセアカシア	ヤナギ類	ヤマボウシ	ヤマボウシ	ヤマボウシ	エンジュ	シラカシ	7,551	3			
総本数	101,131			149,867		232,066		238,333		270,126		288,820		284,966	
上位5種	63%			55%		46%		47%		47%		47%		47%	
上位10種	92%			73%		61%		60%		62%		62%		63%	

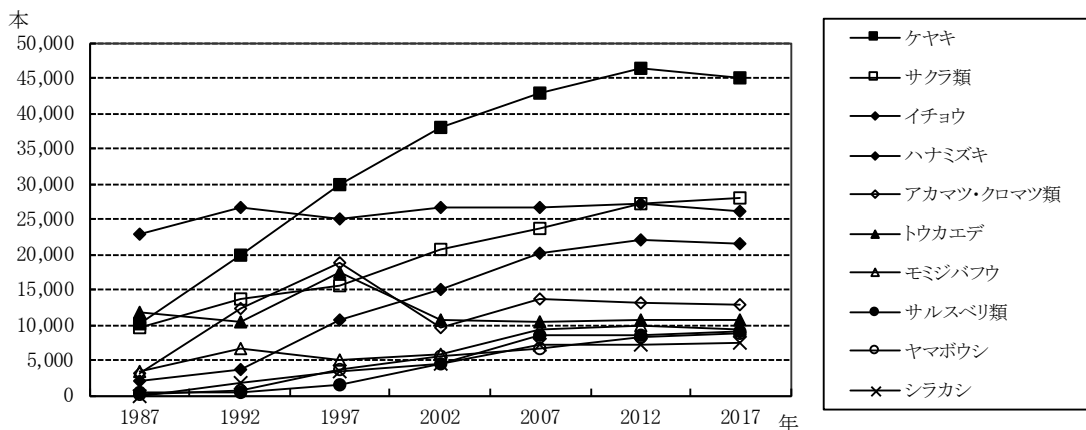


図-2.11 主要樹種本数の経年変化（北陸）

表 -2.7 高木上位 10 種の推移 (中部)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年		1997(平成9)年		2002(平成14)年		2007(平成19)年		2012(平成24)年		2017(平成29)年	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	59,697	12	イチョウ	イチョウ	トウカエデ	トウカエデ	イチョウ	トウカエデ	イチョウ	80,865	9	トウカエデ	80,865	9
2	トウカエデ	49,243	10	トウカエデ	トウカエデ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	トウカエデ	77,796	9	イチョウ	77,796	9
3	サクラ類	39,977	8	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	73,060	8	サクラ類	73,060	8
4	プラタナス類	32,220	7	ケヤキ	ケヤキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	68,952	8	ハナミズキ	68,952	8
5	ナンキンハゼ	21,855	4	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	55,897	6	ケヤキ	55,897	6
6	ケヤキ	18,498	4	プラタナス類	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	42,276	5	ナンキンハゼ	42,276	5
7	シダレヤナギ	16,180	3	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	モミジバフウ	クスノキ	クスノキ	37,181	4	クスノキ	37,181	4
8	マデバシイ	12,980	3	日本産カエデ類	プラタナス類	シラカシ	クスノキ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	34,928	4	モミジバフウ	34,928	4
9	アオギリ	12,711	3	ハナミズキ	日本産カエデ類	モミジバフウ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	33,139	4	シラカシ	33,139	4
10	クスノキ	12,193	3	モミジバフウ	モミジバフウ	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	28,939	3	日本産カエデ類	28,939	3
総本数	486,938			648,813		843,480		850,643		869,317		910,879		905,249	
上位5種	42%			43%		36%		38%		39%		39%		39%	
上位10種	57%			60%		53%		56%		58%		59%		59%	

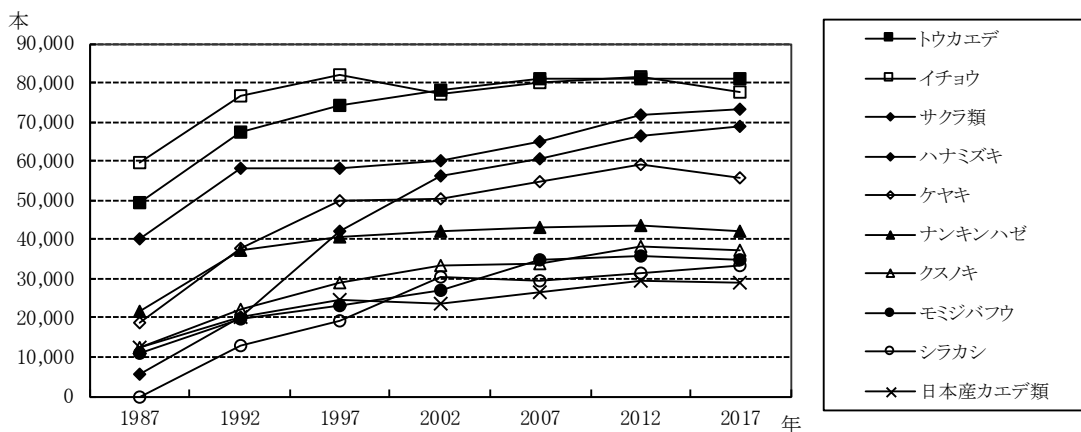


図 -2.12 主要樹種本数の経年変化 (中部)

表 -2.8 高木上位 10 種の推移 (近畿)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年		1997(平成9)年		2002(平成14)年		2007(平成19)年		2012(平成24)年		2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	カシ類	107,483	12	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	96,952	9	イチョウ	96,952	9
2	イチョウ	99,734	11	クスノキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	92,688	8	ケヤキ	92,688	8
3	トウカエデ	57,351	7	ケヤキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	88,306	8	クスノキ	88,306	8	
4	クスノキ	48,212	5	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	サザンカ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	64,584	6	トウカエデ	64,584	6	
5	ケヤキ	48,154	5	カシ類	シラカシ	トウカエデ	トウカエデ	サザンカ類	サクラ類	サザンカ類	64,556	6	サザンカ類	64,556	6	
6	プラタナス類	45,390	5	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サザンカ類	サクラ類	60,446	6	サザンカ類	60,446	6	
7	ウバメガシ	43,064	5	ウバメガシ	プラタナス類	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	41,584	4	シラカシ	41,584	4	
8	サクラ類	37,570	4	プラタナス類	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	38,664	4	ハナミズキ	38,664	4	
9	ナンキンハゼ	25,579	3	ナンキンハゼ	アラカシ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	カシ類不明	カシ類	ナンキンハゼ	31,444	3	ナンキンハゼ	31,444	3	
10	シダレヤナギ	24,861	3	イブキ類	ヤマモモ	ネズミモチ類	ネズミモチ類	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	カシ類	30,962	3	カシ類	30,962	3	
総本数	878,142			853,529		1,131,750		1,099,872		1,101,415		1,118,355		1,097,462		
上位5種	41%			38%		39%		41%		40%		40%		37%		
上位10種	61%			60%		55%		59%		59%		60%		56%		

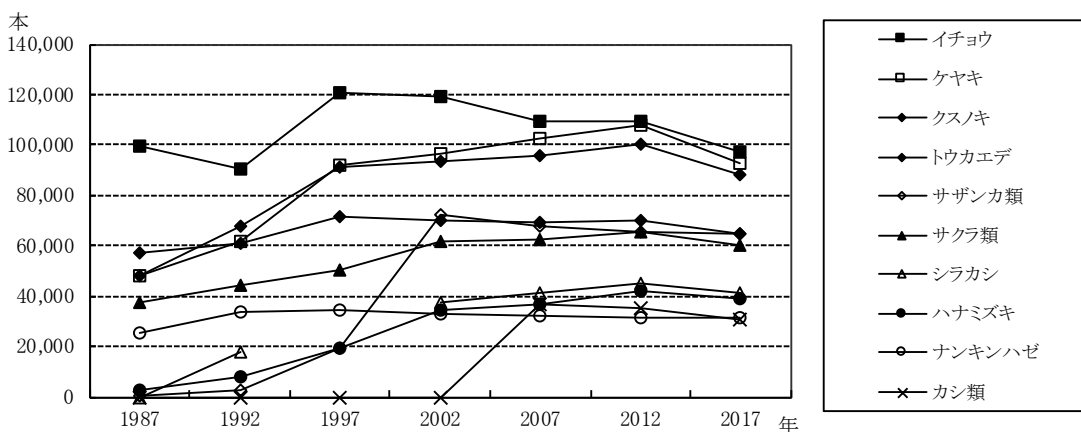


図 -2.13 主要樹種本数の経年変化 (近畿)

表-2.9 高木上位10種の推移(中国)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年	1997(平成9)年	2002(平成14)年	2007(平成19)年	2012(平成24)年	2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合
1	プラタナス類	17,331	11	クスノキ	シラカシ	サザンカ類	ケヤキ	モミジバフウ	ケヤキ	30,074	11
2	モミジバフウ	16,121	10	モミジバフウ	サクラ類	ケヤキ	モミジバフウ	ケヤキ	モミジバフウ	28,476	10
3	クスノキ	13,188	8	サクラ類	ケヤキ	モミジバフウ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	23,025	8
4	イチョウ	11,744	7	プラタナス類	アラカシ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	22,670	8
5	ケヤキ	8,530	5	ケヤキ	モミジバフウ	クスノキ	サザンカ類	プラタナス類	イチョウ	11,839	4
6	トウカエデ	7,283	5	イチョウ	クスノキ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	クロガネモチ	11,724	4
7	サクラ類	6,860	4	マテバシイ	サザンカ類	シラカシ	クロガネモチ	クロガネモチ	ハナミズキ	10,663	4
8	カイズカイブキ	6,831	4	ヤマモモ	イチョウ	プラタナス類	プラタナス類	ハナミズキ	プラタナス類	9,568	3
9	マテバシイ	6,211	4	トウカエデ	プラタナス類	クロガネモチ	ヤマモモ	マテバシイ	ヤマモモ	9,112	3
10	アオギリ	6,171	4	クロガネモチ	ウバメガシ	ヤマモモ	マテバシイ	トウカエデ	トウカエデ	8,820	3
総本数	157,838			211,408	441,720	350,850	298,767	271,466	275,272		
上位5種	42%			44%	38%	38%	40%	41%	42%		
上位10種	64%			64%	56%	54%	58%	60%	60%		

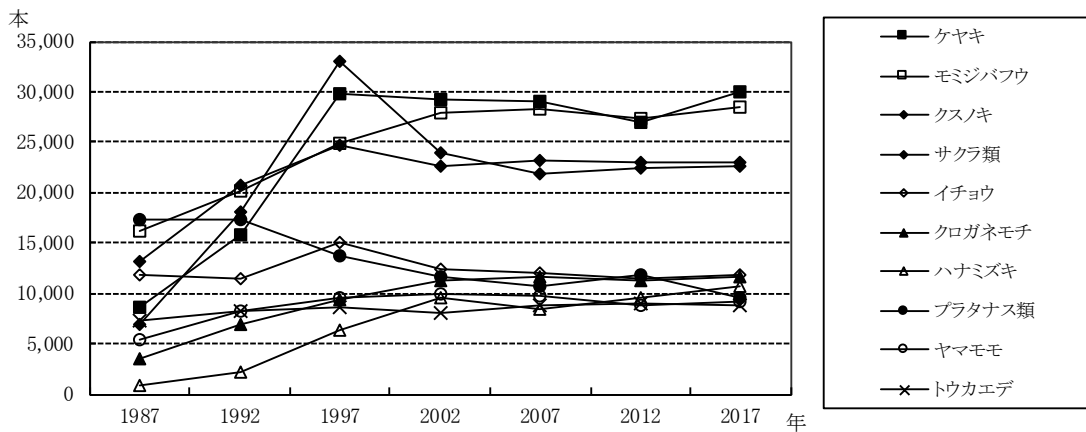


図-2.14 主要樹種本数の経年変化(中国)

表-2.10 高木上位10種の推移(四国)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年	1997(平成9)年	2002(平成14)年	2007(平成19)年	2012(平成24)年	2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合
1	クスノキ	7,226	5	クスノキ	クスノキ	クスノキ	モミジバフウ	クスノキ	クスノキ	18,842	13
2	ヤマモモ	5,666	4	サクラ類	サンゴジュ	ケヤキ	クスノキ	ケヤキ	ケヤキ	11,087	8
3	プラタナス類	5,568	4	ヤマモモ	ケヤキ	ヤマモモ	マテバシイ	モミジバフウ	クロガネモチ	10,351	7
4	モミジバフウ	5,267	4	モミジバフウ	ヤマモモ	モミジバフウ	ケヤキ	クロガネモチ	モミジバフウ	9,029	6
5	イチョウ	4,751	3	トウカエデ	イチョウ	ナンキンハゼ	クロガネモチ	マテバシイ	サクラ類	8,286	6
6	カイズカイブキ	3,821	3	イチョウ	マテバシイ	クロガネモチ	ヤマモモ	ヤマモモ	ヤマモモ	7,730	5
7	マテバシイ	3,625	3	プラタナス類	ナンキンハゼ	マテバシイ	カナメモチ類	サクラ類	マテバシイ	7,381	5
8	シダレヤナギ	3,424	2	マテバシイ	クロガネモチ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	6,138	4
9	サクラ類	3,239	2	ケヤキ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	ナンキンハゼ	5,225	4
10	トウカエデ	3,202	2	モミジバフウ	モミジバフウ	トウカエデ	ハナミズキ	トウカエデ	トウカエデ	5,165	4
総本数	141,415			99,868	133,418	154,621	233,633	148,115	144,432		
上位5種	20%			41%	37%	38%	45%	39%	40%		
上位10種	32%			81%	59%	60%	63%	61%	62%		

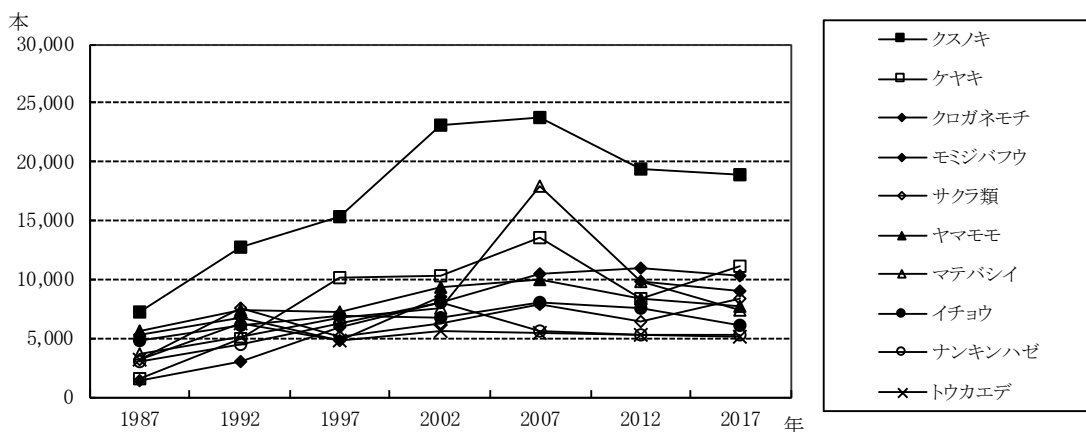


図-2.15 主要樹種本数の経年変化(四国)

表-2.11 高木上位 10 種の推移 (九州)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年	1997(平成9)年	2002(平成14)年	2007(平成19)年	2012(平成24)年	2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	38,001	11	イチョウ	サクラ類	サクラ類	ケヤキ	サクラ類	サクラ類	70,785	12
2	サクラ類	30,197	9	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	サクラ類	ケヤキ	ケヤキ	61,286	10
3	ホルトノキ	29,271	9	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	55,534	9
4	クスノキ	26,454	8	サクラ類	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	イチョウ	41,930	7
5	クロガネモチ	25,757	8	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	40,813	7
6	ケヤキ	18,852	6	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	28,309	5
7	カイズカイブキ	18,830	6	ナンキンハゼ	サザンカ類	サザンカ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	20,287	3
8	ナンキンハゼ	16,837	5	トウカエデ	トウカエデ	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	19,451	3
9	ヤシ類	12,399	4	イブキ類	ナンキンハゼ	トウカエデ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	モミジバフウ	18,559	3
10	トウカエデ	12,101	4	モミジバフウ	ツバキ類	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	ヤマモモ	16,383	3
総本数	334,479			431,208	572,771	680,418	586,932	626,004	609,688		
上位5種	45%			45%	41%	43%	46%	45%	44%		
上位10種	68%			68%	61%	61%	64%	62%	61%		

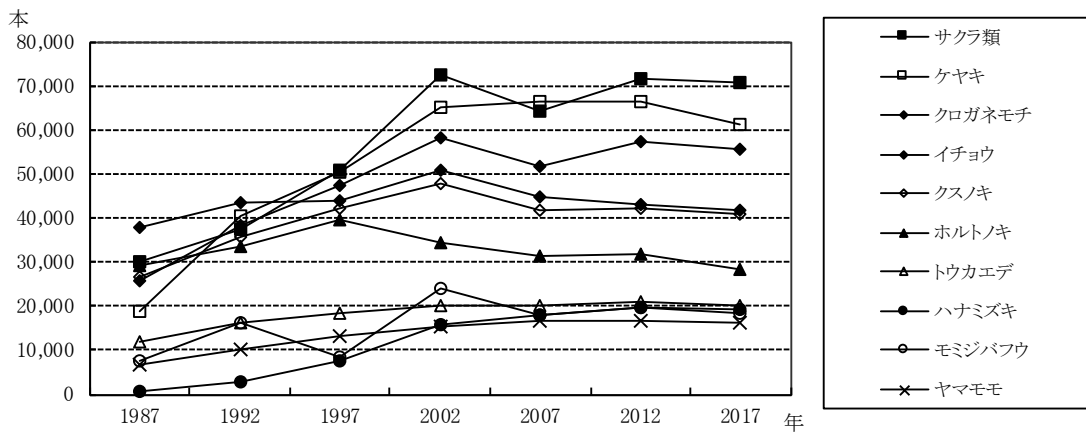


図-2.16 主要樹種本数の経年変化 (九州)

表-2.12 高木上位 10 種の推移 (沖縄)

順位	1987(昭和62)年			1992(平成4)年	1997(平成9)年	2002(平成14)年	2007(平成19)年	2012(平成24)年	2017(平成29)年		
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合
1	ネズミモチ	16,180	14	テリハボク	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	フクギ	フクギ	フクギ	37,657	15
2	ヤシ類	12,182	10	リュウキュウマツ	テリハボク	フクギ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	29,710	12
3	ガジュマル	10,024	9	フクギ	フクギ	テリハボク	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	24,750	10
4	テリハボク	7,503	6	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	テリハボク	テリハボク	テリハボク	14,919	6
5	イスノキ	6,814	6	イスノキ	ガジュマル類	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	モモタマナ	12,058	5
6	フクギ	6,770	6	ホルトノキ	ホルトノキ	イスノキ	モモタマナ	モモタマナ	ホルトノキ	11,471	4
7	リュウキュウマツ	6,162	5	イヌマキ類	イスノキ	ガジュマル類	イスノキ	イスノキ	ガジュマル	10,244	4
8	ホルトノキ	5,880	5	ガジュマル	アカギ	クロキ	ガジュマル類	ガジュマル	イスノキ	9,865	4
9	モッコク	5,749	5	トックリヤシモドキ	トックリヤシモドキ	ブーゲンビレア	アカギ	アカギ	アカギ	9,004	4
10	イヌマキ	4,903	4	アカギ	サクラ類	ホウオウボク	ホウオウボク	ホウオウボク	ホウオウボク	7,809	3
総本数	117,041			164,605	219,742	257,384	251,480	262,822	257,179		
上位5種	45%			45%	47%	42%	45%	45%	46%		
上位10種	70%			67%	67%	62%	65%	65%	65%		

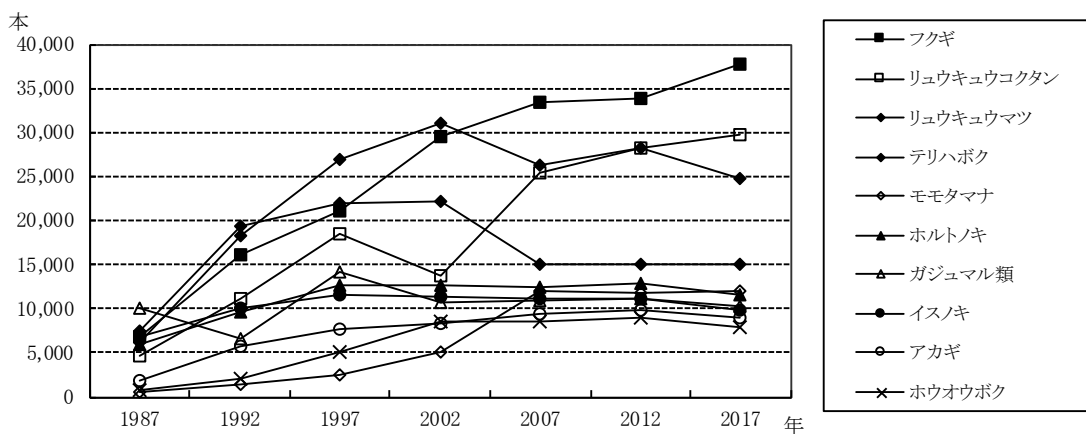


図-2.17 主要樹種本数の経年変化 (沖縄)

2.3.3 樹木タイプの推移

図-2.18 に全国の樹木タイプの構成比の推移を示した。

1992年から1997年に落葉広葉樹の割合が減少、常緑広葉樹の割合が増加し、その後はあまり変化がない。

図-2.19 に地域別の常緑広葉樹の割合の推移を示した。

沖縄では一貫して6割前後の高い割合を示している。近畿、中国、四国、九州も4割前後となっている。中部、関東で2割前後、北陸で1割前後、北海道、東北で1割以下となっており、それぞれの地域の気候に合った樹種が選択されていることが伺われる。

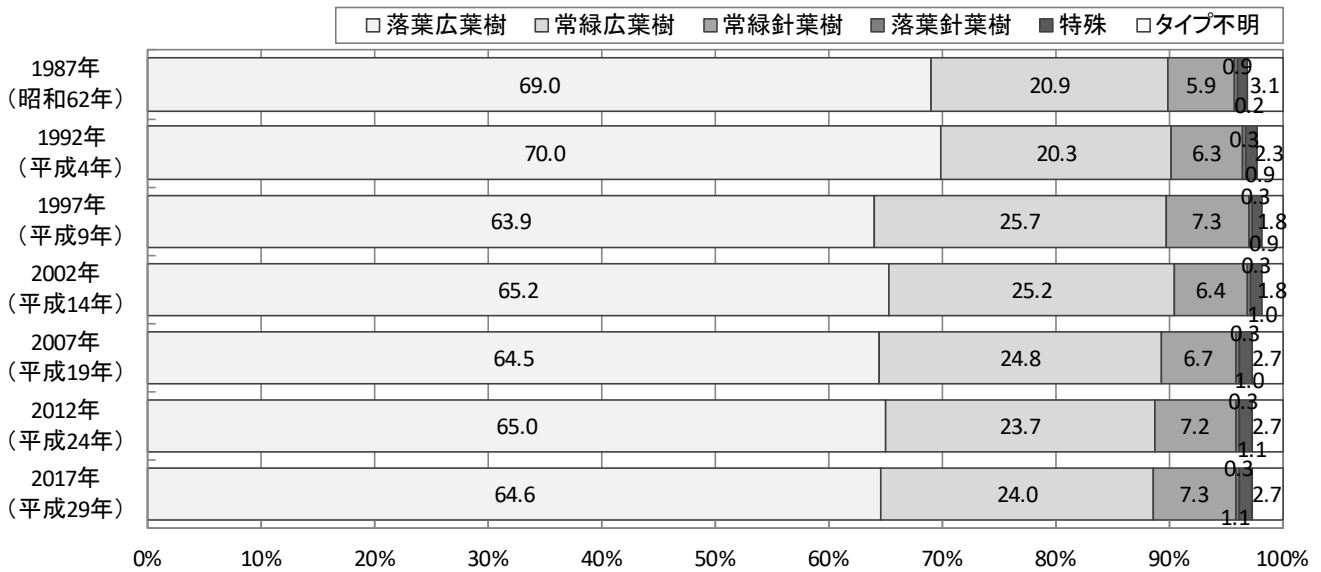


図-2.18 全国の樹木タイプの変化

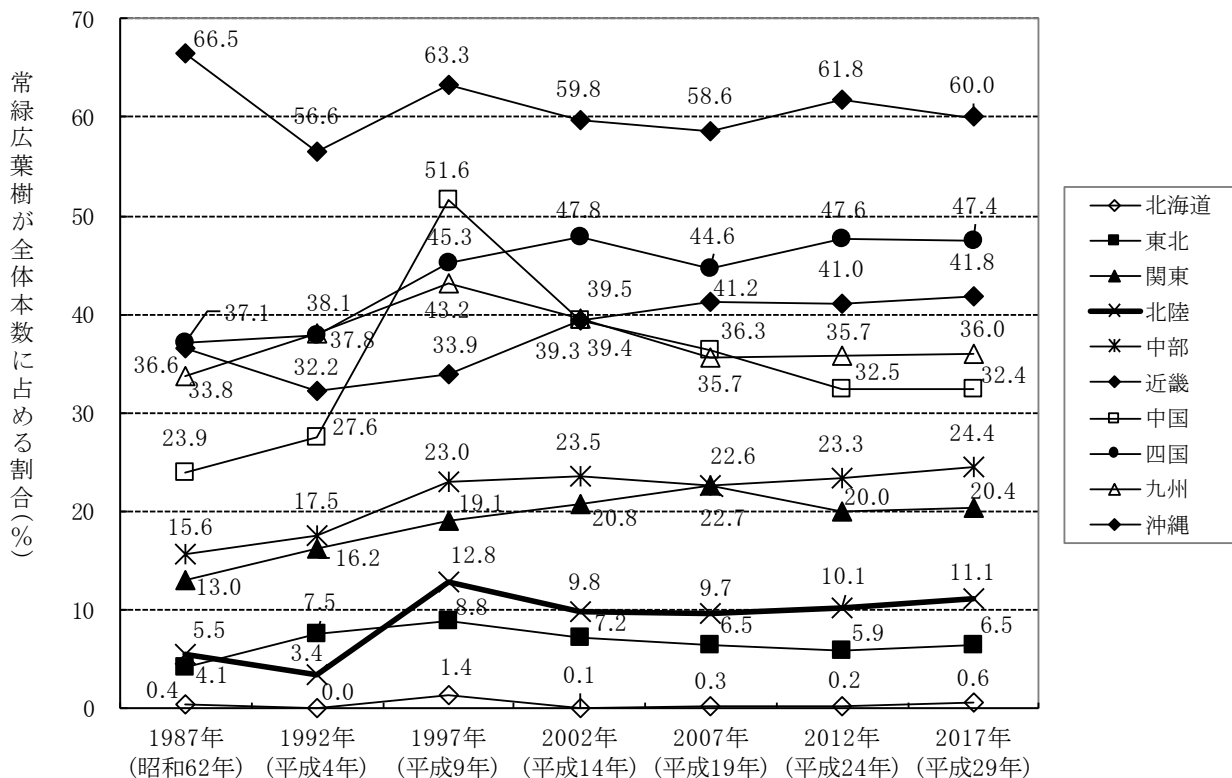


図-2.19 常緑広葉樹が全体本数に占める割合の推移

2.4 今後の課題

街路樹は、1987年に約371万本であったものが2002年には約679万本と、15年間に約1.8倍に増加した。しかし、その後は横ばいで、今後は大きく成長した街路樹の維持管理に重点がおかれることが予想される。

街路樹の生育空間には制限があるにもかかわらず、大きく成長する樹種が植栽されている場合もみられ、樹形を維持するための剪定や根上り対策等が必要不可欠となるが、管理費の削減により適切な管理が行うことが難しくなっている場合も見受けられる。また、植栽時から半世紀程度経過した都市では、周辺の土地利用が大きく変化していることもあり、街路樹の整備方針を転換するなどの再考が求められる場合も考えられる。快適な生活環境や良好な景観の形成に向けて、また地球温暖化対策の点からも、道路緑化の推進が重要であることはもちろんであるが、今後は新規植栽よりも維持管理、また、樹種転換を含めた再植栽の比重が高まると思われる。

ひきつづき全国の道路緑化について基礎的な調査を継続し、得られた情報を整理・公開していくことが必要であると考えられる。